

関連科目、教科書および補助教材	
関連科目	英語演習IC
教科書	プリント資料配布
補助教材等	工業英検4級に関する資料
学習上の留意点	
<p>工業英語を学修するに当たっては、4年次までに習得した英語の文法や表現方法の知識を用いることが必須となるので、受講前にはよく復習しておくこと。</p> <p>また授業では工業英検4級を受験するために必要な知識を身につけるための演習を同時に行うので、一般英語と工業英語の違いについてしっかりと勉強してほしい。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>工業英語をで行う授業の内容は、これまでに学習した数学や物理の原理や公式の説明を英語を用いた場合どのように表現されるかを最初に勉強する。その後計測機器や工学的な内容についてのテーマを取り上げ、専門的な英単語が含まれた場合の文章表現について勉強する。工学的な内容の文章に触れる良い機会となるので、しっかりと勉強してください。</p>	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス はじめに 三角関数について	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・三角関数に関する英文プリント資料を音読・和訳し基礎数学の英語表現について理解できる。	授業で取り上げた内容については各回毎に復習しておくこと。
2	近似計算について	・近似計算に関する英文プリント資料を音読・和訳し基礎数学の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
3	ベクトルとスカラーについて	・ベクトルとスカラーに関する英文プリント資料を音読・和訳し基礎数学の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
4	速さと速度について	・速さと速度に関する英文プリント資料を音読・和訳し基礎物理の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
5	運動の法則(慣性、作用反作用)について	・運動の法則(慣性、作用反作用)に関する英文プリント資料を音読・和訳し基礎物理の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
6	運動の法則(運動方程式)について	・運動の法則(運動方程式)に関する英文プリント資料を音読・和訳し基礎物理の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
7	有効数字について	・有効数字に関する英文プリント資料を音読・和訳し工学基礎の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
8	中 間 試 験		
9	試験返却・解答解説 工業英検4級に関する演習	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・工業英検4級に関する演習を行うことで、工業英検についての傾向と最策を身につけることができる。	
10	マイクロメータについて	・マイクロメータに関する英文プリント資料を音読・和訳し工学基礎の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
11	インターネットについて	・インターネットに関する英文プリント資料を音読・和訳し科学基礎の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
12	CADについて	・CADに関する英文プリント資料を音読・和訳し工学応用の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
13	CG(コンピュータグラフィックス)について	・CG(コンピュータグラフィックス)に関する英文プリント資料を音読・和訳し工学応用の英語表現について理解できる。	事前に配布したプリント資料を予習しておくこと。
14	前期のまとめ	・前期で行った授業に関する演習問題を解くことができる。	
前 期 末 試 験			
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 学 習 時 間 数			45 時間
講 義			30 時間
自学自習			15 時間